

2021（令和3）年度事業計画書

（2021年4月1日～2022年3月31日）

令和3年度は、①人文・社会科学及び自然科学に関する研究に対する助成事業、
②文化及び芸術の普及・支援に関する事業(シンポジウム)、
③各種スポーツの団体・個人への支援を行い、地域スポーツの振興を図る事業、
この3つの事業に加え新たに
④継承すべき伝統芸能、伝統工芸を顕彰し助成する事業
を実施する。

1. 令和2年度研究助成に関する事項

第58回（令和2年度）学術研究助成授賞式及び懇談会を、2021年5月に開催し、学術研究助成受賞者に対して研究助成金を贈呈する。
また、受賞者の研究内容の説明会を実施する。

2. 2021(和3年)年度研究助成に関する事項

(1) 応募要項の発送等

岡山県にある国立大学、公立大学、私立大学、短期大学、高等専門学校、国公立並びに独立行政法人の研究機関等へ応募要項を発送するとともに、ホームページに掲載し、公募する。

(2) 公募期間

公募期間は、2021年10月1日から2022年1月15日までとする。

(3) 審査委員会による選考

2022年2月から3月初旬にかけて予備審査会及び審査委員会を開催し、学術研究助成候補として、谷口記念賞候補1件、学術奨励賞候補6件の選定を行う。

(4) 助成対象者の決定

審査委員会から答申のあった学術研究助成候補について、2022年3月開催の定時理事会において審議し、決定する。

(5) 助成件数と助成金額

助成予定件数は7件とし、助成金額は1件につき50万円、総額350万円以内とする。

3. 研究関連等の出版物の刊行に関する事項

(1) 「財団ニュース」の発行

第 58 回（令和 2 年度）学術研究助成の決定及びその研究概要について特集した「財団ニュース第 50 号」を、2021 年 5 月に発行し、岡山大学等の研究機関へ配布する。

(2) 「レポート第 65 号・令和元年度助成研究成果特集」の発刊

第 57 回（令和元年度）助成研究の 1 年間の研究成果についてまとめた「レポート第 65 号・令和元年度助成研究成果特集」を、2021 年 10 月に発刊し、岡山大学等の研究機関及び図書館へ配布する。

4. 文化講演会(シンポジウム)の開催

シリーズ・シンポジウム「近代岡山の偉人伝 殖産に挑んだ人々」を引き続き開催し、産業分野で日本の近代化をリードした岡山ゆかりの先駆者の足跡をたどり、その理念や事業を討論・紹介するシンポジウムを 6 回実施する。

実施に当たっては、地方公共団体、地元報道機関、公益団体等の後援等連携に努め、広く一般の人々の参加が得られるものとする。入場料は有料とする。

会場は、RSK イノベティブ・メディアセンター(tenjin9)を予定。また、会場定員を抽選により約 50%としているため、多くの参加希望者を救済するため、シンポジウム開催後 1 週間限定で YouTube での配信を実施する。

開催予定 シリーズ第 5 回シンポジウム 2021 年 4 月開催

「野崎武左衛門」

第 6 回シンポジウム 2021 年 6 月開催

「馬越恭平、米井源次郎」

第 7 回シンポジウム 2021 年 8 月開催予定

「近藤廉平、坂本金弥」

第 8 回シンポジウム 2021 年 10 月開催予定

「安達清風、山内善男、太田辰五郎」

第 9 回シンポジウム 2021 年 12 月開催予定

「矢野恒太、坂野鉄次郎」

第 10 回シンポジウム 2022 年 2 月開催予定

「長野宇平治、薬師寺主計」

5. 文化講演会(シンポジウム)記録集の発刊(本年度は 2 回の発行となる)

「近代岡山 殖産に挑んだ人々 1」2021 年 4 月発刊済み

A5 版 298 ページ 頒布価格 1,650 円(税込)

「近代岡山 殖産に挑んだ人々 2」2021 年 12 月発刊予定

A5 版 295 ページ(予定) 頒布価格 1,650 円(税込)

6. 令和 3 年度スポーツ振興に関する事項

(1) 選考

選考委員会からスポーツ活動において優秀な成績・業績を収め、将来更なる功績を残すと期待される個人・団体の推薦を受け、理事会において該当者（スポーツ振興奨励賞）を決定する。また、長年スポーツ振興に功労のあった個人・団体にスポーツ振興特別奨励賞を決定する。

(2) 助成件数と助成金額

助成予定数を最大6件とし、1件につき50万円、計300万円以内とする。ただし、金額は理事会において決定する。

(3) 第2回（令和3年度）スポーツ振興奨励賞授賞式を、2022年5月に開催し、受賞者に対して賞状と助成金を贈呈する。

7. 伝統芸能、伝統工芸に対する助成事業(2022年度)

(1) 選考

委嘱した選考委員及び財団理事からなる選考委員会において継承すべき芸能・工芸の発展に寄与するため、継承者に対し助成金を授与する。

(2) 助成件数と金額

件数及び助成金額未定(1~2件、総額50万円以内)

(3) 新規事業となるため事業変更認定届を監督行政庁である岡山県環境文化部文化振興課へ提出予定。

8. 事業経費

支出総額 24,360,000円

(内訳) ・研究助成事業(公1) 5,060,000円

(助成金350万円(50万円×7件),授賞式50万円,印刷費等)

・シンポジウム事業(公2) 9,130,000円

(シンポジウム1回80万円×6回,本出版2回350万円等)

・スポーツ振興事業(公3) 3,485,000円

(助成金300万円(50万円×6件),授賞式20万円,印刷費等)

・伝統芸能・伝統工芸事業(公4) 550,000円

(助成金50万円,印刷費等)

・法人管理費用 6,135,000円

(役員報酬約125万円,派遣社員約200万円,業務委託費約200万円,管理費88万円等)

9. 流動資産および経常収益

流動資産・経常収益総額 26,930,000円

① 流動資産(現金預金、シンポジウム本売上金戻入) 13,500,000円

② 経常収益 13,430,000円

(内訳) ・基本財産・特定資産運用益,事業収益,寄付金等

以上